

機器組み込み時の注意点

UHF 帯モジュール製品を機器に組込む際の注意点になります。モジュール製品を組込む前に一読くださいますようお願い致します。

◆対象機器

URW-SP3、URW-SP4、PRM92J30CE

◆電源性能について

機器に入力する電源の性能劣化によりモジュール内部のメモリが異常状態になり初期化される現象が発生する場合があります。異常発生時の電源波形の例を図 1 に示します。電源の ON/OFF でオーバーシュートが発生していることが確認できます。正常な波形の例を図 2 に示します。オーバーシュートが発生していません。

オーバーシュートの抑制方法として電源と GND 間にバイパスコンデンサをいれることなどで抑制できます。



図 1: 異常発生時の電源波形例

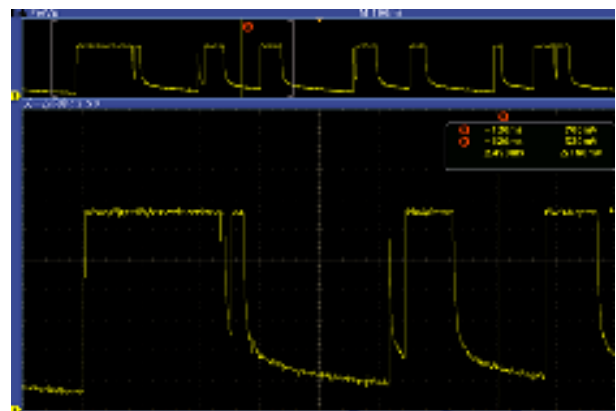


図 2: 正常な電源波形例

◆リセット機能について

組込む環境により(電源変動やノイズ等)モジュール動作が不安定になる場合や上位との通信ができなくなる場合があります。復旧や安定的に動作させるために外部リセット端子をご使用ください。

・URW-SP3、URW-SP4

リセット(10pin)を”L” (1ms 以上)にするとリーダーライターがリセットします。

・PRM92J30CE

リセット(24pin)を”L” (1ms 以上)にするとリーダーライターがリセットします。

リセット後のモジュールの立ち上がりについては、立ち上がり確認用コマンドを用意しております。Check Responsive(特殊フォーマット)(0xA5 を 10msec 以上空けて送信) 立ち上がりの目安時間は、30msec 程度となります。

以上